

2018年2月22日

**クラウド型空調設計支援アプリケーション
『DAIKIN-BIM アプリケーション』の提供を開始**

ダイキン工業株式会社は、ビルディングインフォメーションモデリング（BIM）に対応したクラウド型空調設計支援アプリケーション『DAIKIN-BIM アプリケーション（仮称）』を開発し、2018年7月より建築設備業者向けに提供を開始します。

昨今、建設業界では建設投資額が増加傾向の中、人手不足による労働力の減少が顕在化しており、設計者や施工者の負担は増加しています。建築設備設計においても、建築物の熱負荷計算や空調機器、冷媒配管の選定等の業務が必要となりますが、データの拾い作業等の手入力や計算が多いことから、負担が増加し、作業の省力化が課題となっています。この現状に対して空調機器関連の業務の省力化に取り組む一手として、クラウドを利用したアプリケーションによる業務支援のサービスを提供します。

本アプリケーションは、建築設備設計における空調関連の計算、選定、資料作成業務をクラウド上で自動化することにより、設計・施工業務の効率化を図り、工数短縮に貢献します。まず第一弾の機能として、空調設計に関わる「熱負荷計算」「機器選定」「機器表作成」を無償提供します。その後、冷媒配管選定や気流解析等、施工や運用維持管理まで適用範囲を拡大し、建築プロセスに対して効率的な設計支援プラットフォームの構築をめざします。

また建設業界で業務効率化のツールとして注目されている BIM への対応も同時に行い、BIM 設計・施工用 CAD ソフトとデータ連携を行うことで、従来 CAD 作図とは別に手入力で行っていた空調設計・施工に関する業務を、継ぎ目無く行えるようにします。

CAD 連携の第一段階として、株式会社 NYK システムズ（以下 NYK システムズ）が開発・販売する建築設備 CAD 「Rebro」及び当社が開発・販売する「FILDER Cube」と連携し、利用効率を高めます。今後 NYK システムズとは、本アプリケーションとの連携を基点に、CAD ソフト同士の互換性を高め、複数会社間でも正確に BIM データのやり取りできるようにする等、より効果的な BIM 設計・施工環境の提供に向けて協業を進めてまいります。

本アプリケーションは、2月27日～3月2日に幕張メッセ（千葉県）にて開催される第40回冷凍・空調・暖房展『HVAC&R JAPAN』に於いてデモ展示を行います。